

学生活動助成に関する内規

（目的）

第1条 この内規は、「雪嶺会会則」第25条に基づき、「雪嶺会会則」第2章第3条第1項第2号に定める「会員の諸活動に対する支援」の一環として、準会員（学生）の自発的な諸活動の促進および正会員との交流を推進する活動に対する助成に関して必要な事項を定めることを目的とする。

（助成対象）

第2条 雪嶺会が活動助成する学生または学生団体は、正課外の諸活動に意欲的であり、次の各号に全て該当するもの、または常任幹事会が特に支援すべきと判断したものとする。

- 1) 雪嶺会の準会員（学生）であり、活動成果が期待できる。
- 2) 北海道科学大学に愛着を持ち、活動を通じて大学 PR に寄与しようと努力している。
- 3) 卒業後は雪嶺会の諸活動に積極的に参加・協力する意志がある。
- 4) 学生団体の場合は北海道科学大学の公認団体である。
- 5) 学生団体の場合は同窓生組織が存在するか、または今後設立しようとしている。

（助成方法・助成額）

第3条 助成方法および助成額などは次の通りとする。

- 1) 助成する学生または学生団体は公募し、常任幹事会が助成対象を選考する。
- 2) 助成の公募は4～6月とし、支給は7月とする。ただし、活動成果が顕著な場合には、常任幹事会の判断で随時に助成することができる。
- 3) 申請のない学生または団体に対しても常任幹事会の判断で助成することができる。
- 4) 同一学生あるいは同一団体に対し連続年で助成しないこととする。ただし、活動成果に応じては連続年で助成することもできる。
- 5) 助成対象は毎年10件程度とする。
- 6) 助成額は50,000円とする。ただし、活動成果の期待度に応じて助成額を変更することができる。その場合は常任幹事会の承認を必要とする。

（報告）

第4条 助成を受けた学生または学生団体は、雪嶺会総会においてプレゼンする。ただし、プレゼンは、常任幹事会で数件程度選考する。

- 2 助成を受けた学生または学生団体は、雪嶺会 Web ページにおいて「活動する元気な学生」として紹介するための資料（活動の概要、助成年度の実績および関連する写真数枚）を指定された期日までに雪嶺会へ提出しなければならない。

（内規の改廃）

第5条 この内規の改廃は、常任幹事会の議を経て決定する。

附則

1. 本内規は、平成14年12月1日から施行する。
1. 本内規の改正は、平成16年4月1日から施行する。（助成件数の変更）
1. 本内規の改正は、平成26年4月1日から施行する。（同窓会名変更に伴う改正）
1. 本内規の改正は、2019年4月1日から施行する。（目的、助成方法の条文修正および助成を受けた場合のプレゼンの追記に伴う改正）